

SENDAI

About SENDAI

東北の中心都市、仙台は自然環境と利便性に恵まれたとても暮らしやすい街です。

夏の暑さは穏やかで、東北でありながら冬の降雪量が少ないことが特徴です。

年間を通じて様々なイベントが行われ、たくさんの人で賑わい、春は「仙台・青葉まつり」、夏は「仙台七夕まつり」、秋は「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」、冬の「光のページェント」には県内外から多くの観光客が訪れます。また、1月には各地域の神社で「どんと祭」という正月送りの行事が行われています。

買い物や生活に必要な施設がすべて揃っており、JR、地下鉄、バスなどの交通網が充実しているので、安心して生活をしながら、仕事に打ち込むことができます。



Being the Pioneer of
the Medical Front
for TOHOKU

臨床研修医 募集案内



ACCESS MAP

仙石線

「JR仙台駅」から石巻方面下り電車に乗車(約16分)し、「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分

宮城交通バス

「仙台港フェリーターミナル行(福田町夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

仙台市営バス

「高砂市営住宅西行」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分

「6号公園住宅前行」に乗車し、「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、徒歩約3分

車

仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

お問合せ

卒後研修支援センター

TEL: 022-259-1221 (内線1478)

E-mail: kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp



<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident>

東北医科薬科大学病院
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL





理想の医師像を求めて

東北医科薬科大学病院は、大学病院ではありますが、重症疾患や希少疾患だけではなく、前身の東北厚生年金時代から担ってきた地域病院としての役割もあり、いわゆるCommon Diseaseも多く経験できます。また、それぞれの領域のプロフェッショナルな教授が多数在籍している一方で、大学病院としての規模はまだ大きくはありません。そのため、指導熱心な教授（診療科長）と研修医などの若手との距離が非常に近く、アットホームな雰囲気の中で直接指導を受ける機会が多いのも特徴です。さらに、診療科間や多職種間の垣根もとても低く、それぞれの専門職種が力を発揮しやすい理想的なチーム医療が実践されている病院でもあります。

32の専門診療科が揃う大学病院ならではの自由度の高い研修プログラムが特徴で、地域医療の実践だけでなく先進的医療への参加も可能です。すでに志望診療科が固まっている方はもちろん、これからじっくり選択したい方でも、一人ひとりに合った充実した研修を受けることができます。2026年度からはいよいよ救命救急センター（三次救急）も稼働し、より地域から求められる医療機関になるとともに、皆さんにより多くの貴重な経験の機会を提供できると考えています。

医師となって最初の2年間である臨床研修は本当に貴重な期間です。学生時代とは全く違った立場で主体的に医療の現場に入り、理想の医師像を求め、医師としての土台となる「患者さんに向き合う基本姿勢」を身につける時です。こうした極めて貴重な時期に、当院の経験豊富な指導医のもとで真剣に研修に励むことは、皆さんにとって生涯の財産となるはずです。無限の可能性を秘めた皆さんが、臨床研修医として私たちのチームの一員となってくれることを、心から楽しみにしています。

東北医科薬科大学病院 病院長

川本 俊輔 Dr. Shunsuke Kawamoto

Message from

思いやりの心を持った医師をめざそう

2016年に東北医科薬科大学として医学部が開設されてから、今年で10周年を迎えました。現在では、本学の1期生から3期生が専攻医として母校の大学病院に戻ってきており、彼らを中心とした若いスタッフの多い、活気に溢れた病院となっています。研修医の皆さんにとって年齢が近く、何でも相談しやすい上級医が多い環境です。その中で、診療チームの一員として臨床能力を磨きつつ、医療人としての基盤を臨床研修の2年間で築き上げていただきたいと思います。

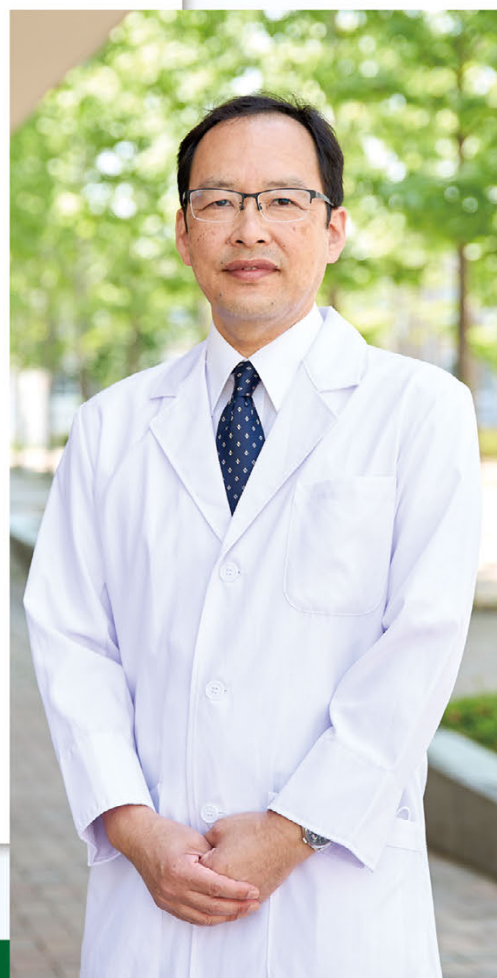
当院は「真心を尽くし思いやりの心で務める」を理念として掲げています。常に患者さんのことを第一に考える“patient first”の精神とは、患者さんに深く寄り添いながら、いかなる時も冷静さを保って最善を尽くすことです。これこそが、医師として最も重要な心構えであると考えています。

新専門医制度下において、当院は基幹病院として14の専門研修プログラムを有しており、臨床研修後の専門研修、さらにはその先のサブスペシャリティ領域へとシームレスにキャリアパスを形成していくことができます。また、令和5年度からは大学院も設置され、学位取得も可能となりました。専門医や学位の取得後、そのままスタッフとして当院で長く活躍していく道もあります。卒後研修支援センターは、研修医の皆さんが最適な道に進めるよう全力で支援します。さらに、昨年からはメンター制度も導入し、皆さんに寄り添ったケアができる研修環境の整備にも力を入れています。

東北医科薬科大学は「東北地方の地域医療に貢献できる医師の養成」を使命として誕生した大学であり、臨床研修に関してもその方針は一貫して貫かれています。東北の地域医療に貢献する意欲に満ちた、多くの皆さんのご応募を心よりお待ちしております。

卒後研修支援センター長

Dr. Morihisa Hirota 廣田 衛久



臨床力と総合力で地域医療を支える医師に

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国で37年ぶりの医学部が新設されたことで、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。医学部附属病院となったことで、診療科の新設、従来の診療科へのスタッフ増員がありました。2019年には大学病院棟が完成し、より

ハード面の充実が図られました。病床数はICU 14床を含め148床で、既存病院と合わせた病床数は588床となり、名実ともに大学病院にふさわしい体制が整うことになりました。

これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。



About TMPUH

卒後研修支援センターについて

東北医科薬科大学病院卒後研修支援センターは、2016年10月に設立されました。

当センターは、卒前教育との連携を図りながら、教員や病院所属医師の“卒後教育”（臨床研修・専門研修）を支援し充実させること、および本学卒業生の東北地方定着に向けた支援を目的としています。

- 研修医の募集および任用に関すること
- 卒後臨床研修カリキュラムの企画立案および実施に関すること
- 研修医の評価に係る業務に関すること
- 研修関連医療機関等との連絡・調整に関すること
- 学部教育との連携に関すること
- 専門医等の育成に関すること
- 地域医師等の生涯教育の支援に関すること
- その他卒後臨床研修に関する事項

東北医科薬科大学病院だからできること

地域型 総合病院

大学病院+横断的な医療

地域を支える
医師を育成

先端医療機器と
充実した教育リソース

様々な進路、
広がる可能性



特色あるプログラム

総合病院として内科系・外科系診療科、小児科、産婦人科、精神科と必修科がそろっているだけでなく、専門性の高い診療科も充実しています。
内科研修では、当院の10の内科系診療科または協力病院で研修を行います。

●総合診療科研修

東北医科薬科大学は、東北地方の地域医療を支える医師を育成することを使命として誕生しました。そのため、研修プログラムでも、当院総合診療科または東北医科薬科大学若林病院の総合診療科で約2ヶ月間研修し、地域医療を支えられるよう専門疾患に偏らない、複数の疾患、複雑な背景を抱えた患者さんの診療について学びます。
また、どちらの総合診療科も入院病床を有し、外来での診療だけでなく、入院精査や治療、退院調整についても学ぶことができます。



●救急研修

当院の救命救急センターは、walk inから救急搬送、common diseaseからCPAまで、幅広く初期診療・救命医療・蘇生治療を行うため、研修医の実力を養う絶好の場です。救急研修では担当した症例や判断に迷いやすいケースについて指導医がフィードバックを行い、将来の専門分野に関わらず1次・2次救急を担える能力を身に着けることに重点を置いています。
また、東北六県の病院に加え、北海道や栃木県など県外の協力病院での研修実績があり、各地域や病院の診療体制の違いを学びながら、多様な救急医療を経験できます。



研修先の具体例

●仙台徳洲会病院 ●帯広第一病院 ●菅間記念病院

●自由選択

自由選択では当院の30以上の診療科(部)および協力病院の中から、診療科を選択してスケジュールを組むことができます。

当院診療科から選択

希望により研修協力病院での研修可。

- | | | | |
|--------------|-----------|--------|--------------|
| ●循環器内科 | ●小児科 | ●形成外科 | ●救急・集中治療科 |
| ●呼吸器内科 | ●消化器外科 | ●皮膚科 | ●感染症内科 |
| ●消化器内科 | ●肝胆膵外科 | ●眼科 | ●病理診断科 |
| ●糖尿病代謝・内分泌内科 | ●呼吸器外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●がん治療支援(緩和)科 |
| ●腎臓・高血圧内科 | ●乳腺・内分泌外科 | ●産婦人科 | ●リハビリテーション科 |
| ●血液・リウマチ科 | ●心臓血管外科 | ●泌尿器科 | ●検査部 |
| ●総合診療科 | ●脳神経外科 | ●放射線科 | |
| ●脳神経内科 | ●整形外科 | ●麻酔科 | |
| ●腫瘍内科 | | | |
| ●精神科 | | | |

※消化器外科、肝胆膵外科の研修は合同で行います



●地域医療研修

地域医療、一般外来研修では訪問診療や病棟診療、初診患者さんなどの診療について研修します。離島への訪問診療、介護老人福祉施設への訪問診療を行っている病院もあり、地域に即した医療や退院後の生活について理解することができます。
また、当院では約2ヶ月間同じ協力病院で研修することを基本とし、同じ病院で研修し地域の環境を理解することで地域における医療、福祉の役割をより深く学ぶことも研修目標のひとつとしています。

研修先の具体例

涌谷町町民医療福祉センター (涌谷町国民健康保険病院)

地域医療 一般外来



保健・医療・福祉・介護を一体的に提供している病院のため、それぞれの連携を経験できます。また、外来や訪問診療の研修だけでなく、地域保健活動等についても学ぶことができます。

女川町地域医療センター

地域医療 一般外来



介護老人保健施設や病児病後児保育室などが併設されています。研修では外来診療や訪問診療だけでなく、訪問看護や通所リハビリなども経験できます。



離島への巡回診療

石巻市立病院

地域医療 一般外来



石巻地域医療教育サテライトセンターが院内に設置され、地域包括医療を実践的に学ぶ場と位置づけられており、また、石巻市立病院での外来や在宅医療の研修、石巻市雄勝診療所での研修や、地域包括ケアに関連する施設での業務など医療以外の地域事業についても学ぶことができます。

宮城県
MIYAGI

東北医科薬科大学病院

その他の研修先

- 塩竈市立病院 地域医療 一般外来
●南三陸病院 地域医療 一般外来
●古川星陵病院 地域医療 一般外来

- 登米市立米谷病院 地域医療 一般外来
●登米市立豊里病院 地域医療 一般外来

研修スケジュール例

内科、自由選択の診療科は、各研修医の希望をもとに相談、調整しながら決めていきます。将来志望する科を中心に研修したい、色々な診療科で研修したいなど診療科の選び方は様々です。

■ 必修科目 ■ 自由選択

プログラムA（標準コース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	東北医科薬科大学病院											
1年目	消化器内科	総合診療科			呼吸器内科			救急・集中治療科			腎臓・ 高血圧 内科	循環器内科
	東北医科薬科大学病院											
2年目	消化器 外科/ 肝胆膵外科	精神科	産婦人科	小児科	乳腺・ 内分泌 外科	呼吸器 外科	麻酔科	協力病院		地域医療・ 一般外来		消化器外科/ 肝胆膵外科
	東北医科薬科大学病院											

研修医 レポート

2025年度採用

金子 周次郎

茨城県出身

ハンガリー国立セグド大学卒業

私は他大学を卒業し、当院で研修を行っています。当院は出身大学に関係なく溶け込みやすい雰囲気があるため、最初の不安もすぐなくなり、スムーズに研修を始めることができました。指導医や上級医の先生方にはいつでも気軽に相談でき、日々の診療の中で丁寧にフィードバックをいただけるため、安心して学ぶことができます。幅広い症例を経験できるだけでなく、自分で考えながら主体的に診療に取り組む機会も多いため、臨床能力を着実に身につけられる環境だと実感しています。また、同期同士の仲も非常に良く、互いに切磋琢磨し、支え合いながら充実した研修生活を送っています。

プログラムB（地域たすき掛けコース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				協力病院			東北医科薬科大学病院			協力病院		
1年目	呼吸器内科		消化器内科		腎臓内科		総合診療科		放射線科	救急科		
	東北医科薬科大学病院						協力病院		東北医科薬科大学病院			
2年目	血液・ リウマチ科	腫瘍内科	泌尿器科	産婦人科	精神科	心臓血管 外科	地域医療・ 一般外来		小児科	耳鼻 咽喉科	消化器内科	

研修医 レポート

2025年度採用

早崎 寿起

岐阜県出身

東北医科薬科大学卒業

1年目は東北医科薬科大学若林病院を中心に研修を行いました。少人数での研修体制であったため指導医との距離が近く、非常にきめ細やかな指導をしていただきました。特に印象的だったのは、先生方が非常に温かく、魅力的な人柄の方ばかりだったことです。日々のお忙しい診療の中でも常に私たちのことを気にかけてくださり、安心して研修に取り組むことができました。また、看護師をはじめとするメディカルスタッフの方々と距離も近く、皆さん優しく接してくださいます。アットホームで非常に学びやすく、自分にとって大きな財産となる充実した1年目となりました。

プログラムC（小児産婦人科コース）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	東北医科薬科大学病院											
1年目	消化器内科	呼吸器内科		総合診療科		循環器内科		救急・集中治療科			産婦人科	
	東北医科薬科大学病院											
2年目	脳神経内科	血液・リウマチ科	消化器外科/ 肝胆膵外科	腎臓・高血圧内科	産婦人科		地域医療・一般外来		精神科	小児科	麻酔科	

研修医 レポート

2025年度採用

佐藤 理瑚

山形県出身

東北医科薬科大学卒業

専門分野を深く学べる点が当院の最大の魅力です。私は産婦人科を志望していますが、手厚いご指導のもと、婦人科手術や分娩管理などを幅広く経験することができました。周術期管理から周産期医療まで一貫して学べる点は、将来に向けた大きな強みになると感じています。また、当院には多くの診療科が揃っており、高度急性期から日常診療まで多彩な症例を経験できるため、専門外の方針についても幅広く網羅して学ぶことができます。自由選択期間では、関連する診療科を重点的に選んでローテーションでできるため、自分の将来の専門領域を見据えながら主体的に成長できる最高のプログラムです。

大学病院棟・医療設備について



大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含む手術室9室のほか、高性能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、高度で先進的な医療の提供が可能です。

また、メディカルトレーニングセンターでは、より安全な医療を提供するための様々な技術トレーニングが行われています。



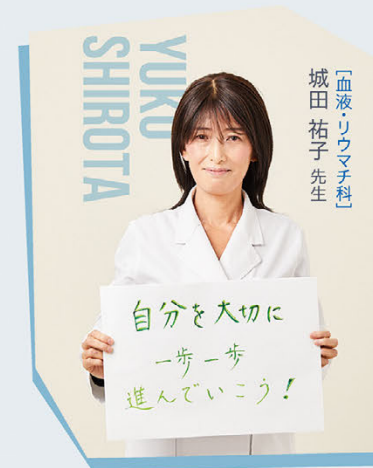
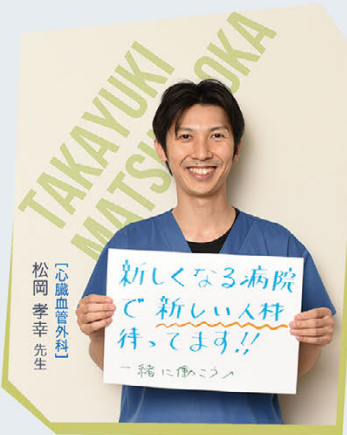
ハイブリッド手術室

手術室に血管造影装置を統合させたもので、高画質な透視・3D-CT撮影も行うことができる手術室です。従来の手術室では対応の難しかった、より高度で低侵襲な治療が可能です。



放射線治療装置(リニアック)

リニアックに専用のCT装置を合体させたCT-リニアックという高精度放射線治療装置を導入しています。放射線治療を行う際、ポジションの位置合わせをした後で、位置合わせが正しくできているかどうか、CT撮影をして確認できます。



血管撮影装置(パイプレン型)

パイプレンとは、X線管球と検出器が2セット搭載されているシステムのことであり、1度の造影剤注入で2方向を同時に撮影することができます。これにより造影剤減量と被ばく低減が可能になり患者負担の軽減につながります。



メディカルトレーニングセンター(MTC)

医学部の新設に伴い設立したメディカルトレーニングセンター(MTC)では様々なモデル、シミュレーターを用いた技能習得、救急・急変対応、技術トレーニングが可能です。医学部生のほか、新規入職の看護師、メディカルスタッフ、研修医がともに学ぶ場となっています。



研修医たちの ある一日



8:30 9:00

午前

12:00

午後

17:15

業務開始

カンファレンス

病棟回診

発熱、食欲不振など患者さんの症状は様々です。指導医と共に病棟回診を行い、検査・診断・治療方針について討議します。必要に応じて他科へのコンサルテーションを行い、効果的に治療を進めます。

ランチタイム

症例検討会

総合診療科には、多彩な背景、主訴の患者さんが入院しています。研修医は、指導医と共に病院の多くの科や多職種と連携を取り、適切な退院後の生活につながるようサポートします。

業務終了

サポート 体制

研修医メンター制度

各研修医にメンターがつき、研修生活をサポートします。悩んだときに相談できる先輩医師がいる環境で、安心して研修を行えます。

当院を選んだ理由は、病院見学の際に病院全体の雰囲気が良く、働きやすそうだと感じたからです。ぜひ一度見学に来てみてください！

猪股 里帆

学生時代から、幅広い症例を先生方の手厚い指導のもとで学べる当院に魅力を感じていました。皆さまと共に働ける日を楽しみにしています。

大井 紀和

地元である仙台の大学病院であり、待遇面も充実していることが決め手でした。腰を据えて、確かな研修に臨める最適な環境だと感じています。

陳 喬彦

研修医 メッセージ

市中病院と大学病院の特徴を持ち合わせているので、一歩足踏み病気を学びつつ、最先端の医療にも触れることができます。点が魅力です。

三好 慧音

奥村 琉生

優しい指導医が多く、手厚い指導体制です。また、診療科も充実しており、待遇面も良好な魅力ある研修環境です。

小林 一蔵

身近な疾患も診ることができ、かつ専門科が揃っていることで、将来の専門研修をイメージしながら臨床研修を行うことができます。ぜひ一緒に研修してみませんか。

坂倉 佑哉

当院は先生方をはじめ、職員の皆さんの雰囲気が非常に良い病院だと思います。ぜひ一緒に働きましょう！

千葉 陽太



研修医のある一週間

〔総合診療科〕

月曜日 カンファレンス、病棟回診、外来見学

火曜日 カンファレンス、病棟回診、外来見学

水曜日 カンファレンス、病棟回診、症例検討会、抄読会

木曜日 カンファレンス、病棟回診、多職種カンファレンス

金曜日 カンファレンス、病棟回診

土曜日 救命救急センター担当業務

日曜日 OFF

★週1回程度、研修医勉強会

★月2～5回程度、救命救急センター担当業務

職場環境

■専攻医・研修医室

専攻医・研修医専用です。

個々のデスクがあり、電子カルテも設置されています。



■借上住宅

1K・ウォークインクローゼット付、トイレバス別で快適。セキュリティも万全なので安心です。



■カフェテリア



■ぶくぶく保育園

夜間保育も行っており、子育てをしながら安心して仕事を続けることができます。※法人教職員利用可



■ローソン



研修医の一年間

4月



入職式 [1年目研修医]
オリエンテーション [1年目研修医]
レジデントデイ

5月

救命救急センター担当業務開始 [1年目研修医]
CPC
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

6月

病院長との懇談会
レジデントデイ
臨床研修プログラム説明会・研修医座談会



7月

臨床研修プログラム説明会・研修医座談会

8月

CPC



9月

10月

病院長との懇談会
レジデントデイ
卒後研修支援センター懇親会



11月

CPC

12月

レジデントデイ

1月

基本的臨床能力評価試験

2月

CPC

3月

レジデントデイ
学術集会
修了証書授与式[2年目研修医]



東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号

【病院長】川本 俊輔

【病床数】一般病棟 542床 精神病棟 46床 計588床

【前身】1946年 5月 宮城第一病院
1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称
2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更
2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更

職員構成

2026年4月1日 現在

職 種	合計職員
医 師	215名
専攻医	63名
臨床研修医	29名
歯科医師	4名
薬剤師	51名
医療技術職	205名
看護職	640名
福祉職	13名
事務員	90名
技能職	28名
合 計	1,338名

臨床研修医募集要項 抜粋

研修期間	4月1日から2年間
身 分	嘱託職員
給与・賞与	1年目ー基本給 330,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季) 2年目ー基本給 340,000円程度/月、賞与 年2回(夏季、冬季)
各種手当	通勤・賞与・超過勤務等
勤務時間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤 8:30~17:15、夜勤 16:00~翌日9:00 就業規則に基づき実施
休暇・休日	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次休暇 法定に基づき付与
年金・保険	私学共済、雇用保険、労災保険加入
福利厚生	健康診断実施、ワクチン接種、学会参加への支援制度、医師賠償責任保険(病院負担にて加入)など

